

発言No. 3

受付No. 19

平成 26 年 8 月 26 日
10 時 43 分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 15番

氏名 道下文男

答弁を求める者 市長 教育委員会委員長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 市民への安心・安全施策について

(1) 異常気象頻発での防災対策について

- ① 8月20日未明、広島市において集中豪雨が発生し、土砂災害による多くの人命が失われた。その背景の中で数々の問題点が露呈しており、そのひとつに「土砂災害警戒区域」の未指定、及び砂防ダムの未完成が指摘されているが、浜田市における現状と今後の考えを伺う。
- ② 災害時における危機管理体制の甘さを指摘されているが、浜田市における現状と今後の考えを伺う。
- ③ 市民への避難周知の遅れが指摘されているが、浜田市における現状と今後の考えを伺う。

(2) 空き家対策について

- ① 空き家の老朽化が進むと倒壊の危険、景観悪化、ゴミの不法投棄、犯罪の誘発などの問題が生じ、対策強化を提案したところであるが、先月の新聞報道によると、住む人のいない空き家が全国で820万戸に達し、全住宅の7.4戸に1戸が空き家という状況で、15年先には4.5戸に1戸が空き家になるとの推計を国が発表した。市の空き家の現状、今後の推測、対策について伺う。

(3) ごみ分別の徹底について

- ① 先日、一般廃棄物処理業者と意見交換会を行った。6年前の9月議会で指摘したのではあるが、依然として資源ごみ袋に、注射針や危険物が混入している状況であり、極めて仕事に支障をきたしているとのこと、市民の安心・安全意識の向上を図るべく早急に対応策を講じられたいが、所見を伺う。
- ② 分別の徹底により、資源ごみの売り払い収入の倍増につながり、ひいてはゴミ処理経費の軽減へとつながるわけであり、子どもたちへの、限りある資源の重要性や環境美化推進についても育めるわけで非常に重要なことであると考えているが、

所見を伺う。

2 行財政施策の集中と選択について

(1) 高齢者の医療・介護対策について

- ① 11年後の2025年には、いわゆる「団塊の世代」が75歳以上となり、国の75歳以上の後期高齢者は2,000万人を超えて総人口の1/5に迫り、地域医療・介護財政を急激に悪化させるといわれている。

そこで、今夏に介護保険や医療提供体系を見直す「地域医療・介護総合確保推進法」が制定され、財政悪化の対策を講じたなかで、要支援の認定者に対する訪問介護とデイサービスが、来春から段階的に市町村事業に移行されるわけであるが、どのように進められる考えなのか、所見を伺う。

(2) 人口減少対策について

- ① 人口減少問題も、財政逼迫に大いに関与する事案であり、中でも少子化対策は重要案件の一つであり、結婚啓発は最重要課題であると考えている。今議会で補正予算に提案された、職場内での結婚意識啓発もさることながら、あらゆる分野において支援を強化すべきと考えるが、現状、及び今後の対応について所見を伺う。

(3) 滞在型観光客の誘致について

- ① 市の自主財源確保へ、滞在型観光客の誘致事業「ようこそ！浜田」運動は非常に有効な施策であり、市民一体で取り組むべき事業の一つと考えている。現状と今後について伺う。

(4) 教育の充実について

- ① 文部科学省が今春に実施した小学6年生と中学3年生の全国学力テストでは、島根県は全国で小学校が35位、中学校が25位であった。また、同じく今春、島根県で小学校3年生以上を対象に実施された学力テストにおいては、家庭での学習時間が短い、テレビ・ゲーム、及び携帯電話やスマートフォンの利用時間が長く学力向上の弊害となっていることを市の教育委員会が、昨年度とほぼ同じく本年度も報告している。課題の修正が進まない中で、このほど10月から開設される「土曜学習支援事業」は、貴重な財源を投資するに値する極めてタイムリーな事業であると考えている。今後の考え方について伺う。
- ② 次世代を担う子どもたちにこそ、財政投資をすべきと考えているが、来年度から実施される新・子育て支援制度とともに、幼児教育の充実を図るべきと考えるが、所見を問う。